

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/06) 43 (2005)	ニューヨーク市保健精神衛生局(DOHMH)は、急速進行性のHIVの高耐性株である3クラス抗レトロウイルス薬耐性HIV(3-DCR HIV)株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断されたと報告した。3-DCR HIVは、最も一般的に処方されている入手可能な4種類の抗ウイルス剤のうち3種類に対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が短いと考えられている。
											HIV	ProMed、2005年2月14日	先日ニューヨーク市在住の男性から検出された稀で病原性が高いヒト免疫不全(HIV)ウイルスの感染源を確認するため、AIDS患者2人から分離されたHIV(AIDS)ウイルスが解析されている。ニューヨーク市で循環している典型的なウイルス株のそれとはかなり異なっていることが示されているが、それが持つ意味はまだ解明されていないと述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年2月8日	英国政府から1990年にスクレーピーに感染したと診断されたヤギが、実はBSE(狂牛病)であった可能性が出ていると発表された。
											肝炎	ProMed、2005年2月8日	黄疸(肝炎)の流行がUttam Nagar地域の一部地区で発生しており、黄疸患者約65名が2005年2月7日保健省当局チームによって確認された。情報の欠落により現時点では起因病原体の特定に至っていないが、今後汚染された水道水が感染源と証明されれば、A型肝炎またはノボびE型肝炎の可能性が強まることが記載。]
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年2月7日	英国で将来変異型ヤコブ病による多数の死亡患者が発生する可能性は低いと発表された。異常プリオンは感染動物の脳と神経系にのみ障害を起こすと考えられてきたが、病因となるタンパクがマウスを用いた実験に基づいて、他の臓器にも分布しうることが発表された。血液製剤・輸血による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病暴露の危険性が、FDAの伝染性海綿状脳症諮問委員会の主要な議題であった。感染の危険性を減じる新技術を期待する同委員会の提案に、Pall社がその新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	ProMed, 2005年2月7日	ニューヨーク市保健精神衛生局(DOHMH)によれば、急速進行性のHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の高病原性株、3-DCR HIVが、一度も抗ウイルス薬治療を受けたことのないニューヨーク市民で初めて確認された。その他3-DCR HIV株の特性、ニューヨーク市でのHIV/AIDS感染の疫学情報などについて記載。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年2月4日	厚生労働省は2005年2月4日、日本で初めての狂牛病のヒト変異型(変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD))患者が確定したと発表。この日本人男性が2004年12月にvCJDのため死亡し、この致死性疾患に1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://medilexicon.com/medicalnews.php?newsid=20065&language=spanish	当初ウシ、ヒツジ、および他の動物における感染性プリオンを検出するために考えられた構造依存性イムノアッセイ(CDI)はこれまでの検出法よりもより早くより正確に検出可能。免疫組織化学的手法により科学者らはタンパク酵素に耐性を示す脳内のプリオンを確認することができることなどについて記載。
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 8(2005)	2004年に英イングランドおよびウェールズにおいてHTLV感染症新規診断が83例あったこと、HTLV-I型が94%陽性と最多。感染経路についても記載されている。
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 8(2005)	2004年に新規HIV感染診断5016件が報告され、1982年のサーベイランス開始後英国で報告されているHIV診断総数は68556件になった。現在までに21010例がAIDSと診断され、そのうち16131例が死亡、2004年の新規診断数は7000例近くと高水準、感染経路(2004年に報告されたHIV診断5016件のうち、57%(2860件)が男女間の性交渉であることなど)、診断症例の地域および診断年の表などが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 8(2006)	急速進行性のHIVの高耐性株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断された。3クラス抗レトロウイルス薬耐性 HIV (3-DCR HIV) 株は、最も一般的に処方されている入手可能な4クラスの抗ウイルス剤のうち3クラスに対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が非常に短縮されている。英国のHIVセロコンバージョンを示した登録者の分析から薬剤耐性ウイルス感染者と薬剤耐性のないウイルス感染者の間で疾患の進行に違いはないことが示されていること、このことからニューヨーク市の症例の特徴は必ずしも感染したウイルス株の耐性パターンに起因するとは限らないことなどについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canada Public Health Agency, Infectious Diseases News Brief.2005年2月18日	厚生労働省は2005年2月4日、日本人で初めての変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)症例を発表した。症例は2001年12月に初めて神経症状を示し、2004年12月に死亡した40代の男性。患者は1988年に約1か月英国に滞在したことが分かっている(正確な滞在期間はまだ確認されていない)、現在のところ英国滞在中にvCJD感染物質に暴露した可能性が有力である。患者がこれまでに輸血を受けた記録はない。患者が献血をしたことがあるかどうか日本赤十字は調査中。この症例と二次伝播の可能性について更なる調査が行われている。
											HIV	Canada Public Health Agency, Infectious Diseases News Brief.2005年2月19日	急速進行性のHIVの高耐性株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断された。3クラス抗レトロウイルス薬耐性 HIV (3-DCR HIV) 株は、3つのクラスの抗ウイルス剤に対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が非常に短縮されているように見える。症例は40才半ばの男性。その後、患者はAIDSを発症した。HIV治療をしている患者における薬剤耐性はますます増加しているが新規診断症例で、以前に治療を受けたことがない患者における3-DCR HIV感染症例は極めてめずらしく、この薬剤耐性とAIDSへの急速な進行の組み合わせのパターンは以前の診断ではなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	ProMed, 2005年2月22日	単発の(新型株が原因とされる)AIDS患者に関する警報発令に疑問の声。今回の研究に参加しなかった科学者の一群は、今回の報道を男性1名に限定された事例で警報の必要性はないと速やかに片付けたこと、別の科学者らは、公衆衛生上の発表を正当化させるだけの十分な研究が実施されていないと指摘していること、Moderator注として今回の患者は伝播しにくい稀なHIV変異株に感染して、以前には検知されないほど低頻度で発生した可能性もあること、同様にAIDS発症まで急速に進行したのは、ウイルスの特性ではなく患者の遺伝的特性のためであった可能性もあることなどについて記載。
											B型肝炎C型肝炎	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 301-305(2004)	違法薬物使用歴、過去の静脈注射使用歴とB型肝炎、C型肝炎、HIV感染対策。
											A型肝炎	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 289-293 (2004)	South YorkshireにおけるA型肝炎症例の増加の大部分は静脈薬物を使用している若い男性であった。地域密着型の予防接種プログラム、地区の刑務所での4週間にわたる予防接種キャンペーンなどの結果、A型肝炎の増加は終息
											HIV	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 315-318 (2004)	West Midlands におけるHIV感染症。2566例が報告され、483例(19%)が死亡。大部分が男性で1932例(75.3%)。暴露方法は男性間の性交渉1190例(46.4%)、血液もしくは血液製剤を解しての伝播、薬物使用者における感染、母子間感染などが記載されている。
											A型肝炎	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 362-384 (2004)	A型肝炎、カンピロバクター感染症、コレラ、クリプトスポリジウム症、大腸菌感染症、ジアルジア症、サルモネラ感染症、チフス、パラチフスなどに関するガイドラインが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	Communicable Public health. Vol.7 No.4, 387 (2004)	Communicable Disease Surveillance Center (CDSC)はイングランドウェールズおよび北アイルランドにおいて報告されているHIV感染症症例合計58892例のうち、HIV-1感染症症例37961例と比べて、HIV-2感染症の報告を96例しか受けていないこと、2003年に報告に至っていないHIV-2感染症の度合いを推定するために検査室を対象にアンケート試験を実施したところ、2001年～2002年の間に、16サンプルのみがHIV-2陽性(1サンプルはHIV-1に共感染)と判明したが、同時期にCDSCに対して22カ所の検査室がHIV-2陽性(1サンプルはHIV-1に共感染)を確定したと報告したこと(件数の差はアンケートに答えていない検査室から報告されたのではないかと推測している)、CDSCへの定期報告を介して報告に至っていないHIV-2感染症の度合いを評価することは不可能であったことなどが記載されている。
											HIV	CCDR, Vol. 31No.5, 53-55(2005)	性交渉の相手および薬物を共有している相手にHIV/AIDSの状態を伝えない人々は疾病を伝播する可能性がある。輸血・静脈薬物使用・母子感染・針刺し事故・性的暴露などの個々の行動に関連したHIV伝播のリスク、HIV/AIDSの状態を伝えない人々の問題に取り組むための戦略の評価、HIV/AIDSに関する連邦、地方、地域諮問委員会からの勧告の概要を記載。
											HIV	ProMed, 2005年2月24日	これまでに抗ウイルス薬治療を受けていないニューヨーク市民で急速に進行する多剤耐性のHIV感染患者1名が診断された。感染伝播されたウイルスのこの特定株に関してはニューヨークでは他の患者は同定されていない。
											B型肝炎	MMWR, Vol.54 No. 9,222-223 (2005)	2003年-2004年
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/as/setRoot/04/10/53/47/04105347.pdf	2005年3月4日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 10(2005)	Health Protection Agency's Centre for Infections (CFI)が、職業的暴露後に医療従事者で発生したHIVセロコンバージョン症例を照合している。看護師、臨床検査室職員、医学生を含む医師(外科医は含まない)などが対象。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年3月8日 http://news.xinhuanet.com/english/2005-03/08/content_2668406.htm	日本の厚生労働省は3月7日に、1980年～1996年に英国およびフランスに1日以上滞在した経験のある人からの献血を断るとした新たな規制を発表していたが、血液供給が不足した場合にはその規制を見直す可能性があることを表明。コンフォメーション依存性免疫アッセイ法(CDI)と呼ばれる検査法は元来、ウシ、ヒツジ、シカその他の動物での病原性たんぱく質プリオンの種々の形を検出するために開発された方法であるが、ヒトの脳組織中のプリオンを特定するだけでなく、標準的な免疫学的検査法よりも迅速かつ正確であることが確認された。
											HIV	WHOニュース.2005年3月24日	WHOが2005年3月24日に発表したGlobal tuberculosis control2005年報告によると、1990年以降世界における結核罹患率は20%以上減少し、発生率は現在世界6地域中5地域において下降または安定している。明らかな例外はアフリカで、1990年以降HIV感染率の高いアフリカ諸国において結核罹患率は3倍となり、アフリカ大陸全域で年間3-4%上昇していることなどについて記載されている。
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15 No. 12(2005)	2005年3月、後期HIV診断と早期死亡率の推定数および割合の国内の傾向に関する報告が発表された。CD4細胞数200/mm ³ 以下と定義される「後期HIV」と診断されたMSMは、HIV診断の1年以内に死亡する可能性が10倍以上であることが示されている。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/11)68(2005)	2005年3月4日までの英国におけるクロイツフェルト・ヤコブ病確定およびその疑い症例の調査データ。2005年になってから2005年3月4日まで18例について調査し、死亡例-散发例:5例, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome):1例, vCJD確定例:1例, 生存のvCJD可能性例-5例。vCJD確定例死亡総数(1995年～2005年3月4日)-149例
											クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/11)68(2005)	1992年～2005年2月4日までの、英国およびスコットランドにおけるBSE確定症例数(2005年(2005年2月4日まで)は英国において3例、スコットランドにおいて1例)。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/publicat/epi-note/index.html	カナダのアボリジニーにおけるHIVについて調査が行なわれ、その流行は下降の徴候を示していないこと、アボリジニーにおける最も一般的なHIV伝播の様式は静注薬物使用であること、アボリジニーコミュニティにおいてアボリジニーの女性がHIV流行の大部分を形成していること、アボリジニーは非アボリジニーよりも若年時に感染しているなどの特徴がある。カナダにおけるHIV/AIDSのパターンに関するより完全な情報およびアボリジニーにおけるHIV検査が予防および管理戦略を導くものとして必要。
											B型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-sm/nb-ab/2005/nb1105_e.html	血糖管理に関連したB型肝炎ウイルス感染のアウトブレイクによりCDCおよびFDAは1990年以降、指先穿刺用具の個人使用の制限を推奨してきた。最近、長期療養型施設居住者における血糖管理用医療用具の共用などによりHBV感染のアウトブレイク3件が発生した。これらについての調査および以前の報告から、基本的注意および指先穿刺用具に関する推奨は、常に長期療養型施設において実施されていないことが示唆されたことなどについて記載されている。
											HIV	http://www.aegis.com/news/ads/2005/AD050524.html	中国東部の当局は1990年以降に売血をした人々に対するHIV検査の実施を開始。当局はAIDS流行の増加を阻止しようと検査を開始。中国保健省は中国におけるHIV陽性患者は84万人、AIDS患者は8万人と報告している。WHOは感染者数を150万～200万人と推定。
											B型肝炎	Public Health Agency of Canada, 2005/3/22	ベルギーのFlandersにある老人養護施設2カ所において、糖尿病患者におけるfingerstick(血液採取用具)の複数回使用に関連した、急性B型肝炎感染症例4例が最近発見されたこと、米国では、血糖値管理中の不十分な感染管理方法に関連した長期療養型施設の高令居住者におけるB型肝炎のアウトブレイク3件が最近報告されていること、英国の長期療養型施設における最近のB型肝炎のアウトブレイクは現在調査中であるが、伝播様式はいまだに不明であることなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	Public Health Agency of Canada, 2005/3/22	アボリジニーにおけるHIV/AIDSの流行について非アボリジニーと比較されている。概括として、アボリジニーにおけるHIVの流行は下降の徴候を示していないこと、アボリジニーにおける最も一般的なHIV伝播の様式は静注薬物使用であること、アボリジニーコミュニティにおいてアボリジニーの女性がHIV流行の大部分を形成していること、アボリジニーは非アボリジニーよりも若年時に感染していることが示唆され、このことからアボリジニーにおけるHIVの流行は異なる特徴がありカナダのHIV流行を複雑にしている。
											A型肝炎	ProMed, 2005/3/28	Hyderabad (Andhra Pradesh州)でのA型およびE型肝炎流行。2005年3月第4週に渡り、患者100名以上が旧市街の狭い地区1区のみから報告された。患者はA型およびE型肝炎と診断されている。過去数日間では、患者数は増加を続けているが、政府は、新規患者数は減少し始めたとしている。
											肝炎	ProMed, 2005/3/28	肝炎患者数はBaramatiでは348名に、Alandiでは67名に増加したが、国立ウイルス学研究所(NIV)は今回の流行の原因をE型肝炎と特定した。NIV担当官は、5検体が検査でE型肝炎ウイルス陽性となったと述べ、病因ウイルスは汚染された飲料水を介して拡大したと確認した。
											肝炎	ProMed, 2005/3/28	肝炎(黄疸)の流行がBaramatiからPuneへと拡大し、Alandiの住民61名が汚染された飲料水を摂取して感染した。今回の流行は、平行して走る下水管からの漏水による上水の汚染が原因である。流行の原因としてA型およびE型肝炎が共に考えられること
											HIV感染、肝炎	The Tribune, オンライン版2005年3月23日	インドの会計検査院から多くのユニットの血液がHIVおよび肝炎に対する必須のスクリーニングなしに国立病院で患者に輸血されたと最近発表された。複数の医療機関が血液をHIVもしくは肝炎の検査をせずに輸血をしていた。ある病院では、HIVおよび肝炎検査キットが入手できなかったため、検査無しで1235ユニットの血液が使用されたと報告したことなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4107676&chk=q5G1uM	2005年4月1日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要2005年4月1日現在の2005年になってからのCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-11(散発例9, 医原性0, 家族性0, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD1)
											HIV	CDR Weekly, Vol. 15, No.13 (2005)	050331号で報告した「HIVに感染している男性と性交渉を持つ男性(MSM)における後期診断と死亡率」の記事に掲載された表1の説明の訂正。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年4月4日	United Press International (UPI)社は、1971年に死亡したフランス人女性の脳が変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に合致した病理所見を示しており、脳標本を再検査しているとの情報入手。もしこの発見が確定されれば、従来考えられていたよりも20年も早くヒトに感染していたことになる。NIHの研究者であったBruce Johnson博士は、2000年にこの女性患者の脳を検査し、変異型CJDの患者脳に認められる組織変化を確認したと証言。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Asahi Weekly, 2005年4月11日	厚生労働省は先月、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の拡大を防止するため1980年～1996年に1日でも英国に滞在した人の献血を禁止する計画を発表したこと、2005年4月11日のASAHI WEEKLYによればこの禁止により今でも少ない血液の供給がこの夏には更に制限されると考えられることなどについて記載されている。
											C型肝炎	CDR Weekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	2004年第4四半期は、C型肝炎感染計1288例が報告されたこと、2004年10月～12月の年齢別および性別の症例数を記載。
											B型肝炎	CDR Weekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	2004年第4四半期は、急性B型肝炎感染の検査報告計40件が報告されたこと、2004年10月～12月の年齢別および性別、暴露カテゴリー別の症例数を記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											C型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	Health Protection Agency Centre for infection によって行われるC型肝炎複合週及調査活動において、2004年ロンドン病院の産婦人科で治療を受けた患者にC型肝炎ウイルス感染が確認され、この患者と患者を看護した医療従事者に遺伝子型が同一のウイルスが確認された。この医療従事者が働いていた1981年～2004年にこの医療従事者が関与する暴露の可能性のある処置を受けた全ての患者に対しC型肝炎検査を受けるよう推奨し、確認されている患者に対しレターが送られた。
											A型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	2004年第4四半期は、HPAのCommunicable Disease Surveillance Centre (CDSC)にA型肝炎の検査報告が109例されており、2003年の第4四半期よりも46%少ないこと、2004年7月～9月の、年齢別および性別の症例数のグラフなど掲載。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/15) 92 (2005)	2005年第1四半期はHIVの診断83件がHPSへ報告され、報告の特徴(率およびリスクカテゴリーの分布)は2004年に観察されたものと一致していること、2004年にHIV感染女性13例が産出しており、これらの症例のHIVの状態は妊娠前は知られていなかったこと、観察結果から全体的に国家の新生児HIV検査は全国を通して実施は成功していることを示していることなどについて記載されている。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/15) 82-89 (2005)	2005年1月1日から2005年3月31日までの第一四半期に、NHSスコットランド研究所は83名のHIV抗体検査陽性が新規に報告された。HIV陽性者の累積総数は4303例。少なくとも1409例が死亡。同四半期に臨床医よりAIDS症例9例が報告され、1例の死亡が記録された。現在、AIDS症例累計数は1247例、その内855例が死亡。英国全体では2004年12月31日までにHIV感染症例68556例およびAIDS症例21010例が報告されている。
											HIV	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/15) 89-90 (2005)	新生児からの乾燥炉紙血(Dried Blood Spot)でのHIV検査を通して、スコットランドの女性53828名のHIV感染症の状態が検査されている。1999年～2004年のスコットランドの出産した女性でのHIV感染症罹患率のグラフ、HIV感染症の傾向についての表なども掲載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年4月15日	ブッシュ政権は4月15日、15か月前に米国初のBSE症例発生を受けて米国農務省(USDA)が使用した規制を緩和し、一部の負傷したウシをヒトの食糧として屠殺することを認める可能性がある」と発表した。これに対し消費者団体は、BSE(汚染食肉)が食品中に入り込むのを阻止すること目的とした規制のいかなる変更にも反対としている。
											HIV感染、C型肝炎	http://www.cber/summaries/natblfrm041905jg.pdf	2004-2005年の業績(ガイダンス及び規則の制定(バーコード規則、献血における全血および原料用血漿のHIVおよびHCVの核酸増幅検査(NAT))、2004-2005年の継続(血液の安全性に対する新たな脅威:vCJD)、2005年の新規戦略イニシアチブの構築(クリティカルパス)、最近のCBERが協力したScience Supporting Innovation(安全性として西ナイルウイルス検査基準および試薬)などについて。
											HIV	Fhttp://www.sciencemag.org/cgi/content/full/308/5719/184	ブルガリアの看護師が汚染された血液でリビアの小児400例以上を意図的にHIVに感染させたと、リビア政府は主張し、補償をブルガリアに拒否された事からまもなくブルガリアとの通商停止および輸出入禁止を行う予定。リビアは海外の医療従事者が国を不安定にする方法として小児に感染させたと主張。その他はリビアの病院における血液製剤の不十分なスクリーニングおよび滅菌により小児らが感染したと考えている。
											C型肝炎	Evening Times, 2005年4月19日	ある産婦人科の外科医が最近C型肝炎であることが判明した。これに伴い、過去23年間にこの医師の治療を受けた患者にリスクがあることが通知され、女性1例が既にC型肝炎検査陽性であったことなどについて記載されている。
											HIV	The Telegraph, 2005年4月14日	インドのムザファルナガルの市民が、HIV陽性の9才男児の死亡後、少年が民間の血液バンクから提供された汚染血液からウイルスに感染した疑いから市全体にわたる抗議を行った。2005年4月13日のTelegraphの記事によれば、男児を治療した2名の医師の弁護士は男児は治療を受けた他の病院で感染したと主張したことなどについて記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年4月22日	最近vCJDが診断された患者は、オランダにおいて初めて確認された症例である。政府関係者は他のヨーロッパ当局に対し、患者は献血もしくは組織提供を行っておらず輸血または組織の移植も受けていないこと、この症例が他者に感染を起こす、もしくは他者から感染したとは考えられないと述べた。患者がさらに疾患を伝播した可能性があるか決定するため調査中。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.alertnet.org/thenews/newsdesk/L21710368.htm	2005年4月21日オランダで初の「狂牛病」ヒト患者が報告されたが、オランダ産牛肉を摂食することは安全であると発表された。オランダ内務省はユトレヒト市街中央部の病院に入院中の患者が、異型クロイツフェルト・ヤコブ病と診断されたと公表した。ヨーロッパ当局には事態を通報し、この疾患が他の患者にも感染している危険が無いかどうか調査中であると報じられた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年4月28日	世界中のBSE症例数更新: 2004年にBSE発生率が最も高かった2国は、ポルトガル(93.870)と英国(67.796)で従来と同じ。スロバキア、ポーランド、チェコ共和国および日本が前年より高い発生率。オランダでのBSE対策の経緯の情報。
											A型肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18, 453-456(2005)	IgM型HAV抗体陽性で最近の肝炎の徴候または症状のない一部の人々については、最近の急性感染症後の持続検査陽性という理由が考えられるが、肝炎の徴候症状がない。3つの調査においてHAV抗体陽性の大部分の人々は感染症の特定のリスクのない高齢者であり、再検査を行った大部分はIgM型HAV抗体陰性。他者への感染伝播は報告されていない。よって肝炎特有の症状のない高齢者におけるIgM型HAV抗体陽性試験は、偽陽性結果または最近のHAV感染症よりも数ヶ月から数年前に発症したHAV感染症の結果である可能性が高いことが示唆されたことなどについて記載されている。
											肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18, 464(2005)	5月はHepatitis Awareness Monthであり、2003年は米国において推定でA型肝炎ウイルス感染症61000例、B型肝炎ウイルス感染症73000例、C型肝炎ウイルス感染症30000例が新規に発生したこと、Hepatitis Awareness Monthについての情報(活動、ウイルス性肝炎の予防および管理など)が掲載されているURLなどが記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4109443&chk=RClc%2BW	2005年4月29日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要:2005年になってからのCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-13(散发例10, 医原性0, 家族性0, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD2)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	NOIDS Weekly Report2005年4月22日	2000年8月から2004年8月31日までのCJD手術インシデント報告数は183件で、47%が散発的なCJD初発症例、28%が変異型CJD初発症例、19%がその他の型のCJDとCJDのリスクにある症例で、報告の7%はCJDが疑われたが最終的には初発症例の診断からは除外された。2004年8月31日までの報告で、手術機器を介してCJDに暴露した可能性のある10件の手術インシデントに関係した患者57名に対して勧告が通知された。地理的に関連している変異型クロイツフェルト・ヤコブ病症例、National Anonymous Tonsil Archive などについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.pei.de/engliish/professionals/haemat_e_info_050112e.htm	後に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病を発症したフランス人女性ドナーの血漿が、1996年に中間製品に使用されていたことを、2005年1月10日、ZLB Behringはポールエーリツヒ研究所に通知。この中間製品は血友病Aおよび後天性第VIII因子欠損に関連した出血の予防および治療などに用いられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年5月5日	オランダで「狂牛病」のヒト変異型であるvCJDと最近診断された26才女性が5月3日に死亡し、この神経疾患によるオランダ初の犠牲者になったとこの女性が入院していた病院当局が公表。フランスで新たに2名のvCJD患者が発見され、同国における患者総数は11名になったと保健当局が述べた。この患者らに献血歴は無いことなどの記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18,453-456(2005)	IgM型HAV抗体陽性で最近の肝炎の徴候または症状のない一部の人々については、最近の急性感染症後の持続検査陽性という理由が考えられるが、3つの調査において検査結果がHAV抗体陽性であった大部分の人々は感染症の特定のリスクのない高齢者であり、再検査を行った大部分はIgM型HAV抗体陰性であったこと、他者への感染伝播は報告されていないこと、これらのデータから肝炎特有の症状のない高齢者におけるIgM型HAV抗体陽性試験は、偽陽性結果または最近のHAV感染症よりも数ヶ月から数年前に発症したHAV感染症の結果である可能性が高いことが示唆されたことなどについて記載されている。
											肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18,464(2005)	5月はHepatitis Awareness Monthであり、2003年は米国において推定でA型肝炎ウイルス感染症61000例、B型肝炎ウイルス感染症73000例、C型肝炎ウイルス感染症30000例が新規に発生したこと、Hepatitis Awareness Monthについての情報(活動内容、ウイルス性肝炎の予防および管理など)が掲載されているURLなどが記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.dh.gov.uk/PublicationsAndStatistics/PressReleases/PressReleasesNotices/fs/en?CONTENT_ID=4109443&ch	2005年4月29日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要:2005年4月29日現在の2005年のCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-13(散发例10, 医原性0, 家族性0, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD2)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/noids/2005/Weeklies/WN0516.PDF	2000年8月にCJDインシデント委員会設立後最初の4年間のCJD手術インシデント報告数、散発的な初発症例、変異型初発症例などがあった。手術機器を介してCJDに暴露した可能性のある患者57名に対しては勧告が通知された。地理的に関連している変異型クロイツフェルト・ヤコブ病症例、National Anonymous Tonsil Archiveなどについて記載されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											感染	http://www.aabb.org/Pressroom/In_the_News/new5-27.htm	ヒト細胞、組織、細胞および組織由来製品(HCT/Ps)の暫定的最終規則の発表:ドナースクリーニングと検査、および関連した表示。米CBERは2005年5月25日にヒト細胞、組織、細胞および組織由来製品(HCT/Ps)のドナースクリーニングと検査およびそれに関連した表示(HCT/Psの自己使用を除いて「警告:レピシエントに感染症のリスクを勧告すること」など)の暫定的最終規則を発表したことなどについて記載されています。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英国保健省Publications and statistics,2005/0201、2005年6月6日	2005年6月3日現在の英国における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD症例)の概要:2005年になってからのCJD診断確定例および可能性例の総死亡例数-18(散发例13, 医原性1, 家族性1, GSS(Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome)1, vCJD2)
											HIV	http://www.phac-aspc.gc.ca/publicat/epc/aids-sida/haic-vsac1204/index.html	カナダにおけるHIV-AIDS, 1984年~2004年のカナダの周産期HIVサーベイランスプログラムの報告、カナダにおけるHIV/AIDSによる死亡などについて記載。カナダにおけるAIDS診断の成人女性が占める割合が増加していることなどが記載されている。
											A型肝炎	ProMed、2005年6月9日	Tver地域南西部ではA型肝炎発生は増悪を続け、患者数は、小児75名を含め、352名に達した。6月8日時点で、その他に67名が肝炎症状で入院。このTver地域でのA型肝炎流行が拡大しているため、Moskva川近くの下水を浄化する緊急対策が実施されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed、2005年6月6日	ヨークシャー州のvCJD患者集団発生での4名中の一人であった18歳の少年が1997年3月にvCJDで死亡した。この少年は登録された献血ドナーである事実が隠されていて、供血を受けた7人が追跡された。2004年9月に専門家らが、vCJD患者の血液を輸血された事実を知らせるべきだと決定するまで7年間、この事実は隠された。1980年代に脳外科手術によって、患者約50人がCJDに暴露された可能性が出ている。カルテが廃棄されたため多くの患者の特定は困難であった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年6月6日	国際的なBSE症例更新情報: 日本の農林水産省は、2005年6月初旬に採取された検体を解析した結果、北海道鹿追町で飼育されていた4才9か月令のウシがBSEに感染していたと結論したとしている。特定危険部位(SRM)(脳や脊髄といった組織)が食品として屠殺されるウシから除外されることが規定された年令は、2000年にEU加盟国により12か月令と決定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Assessing the Risk of vCJD Trans-mission via Surgery: an interim reviewEd. Department of Health2005年3月	専門家向けの手術器具の再使用を介した変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)感染リスクの分析のupdate。全体として、手術を介したvCJD感染リスクは重大であると考えられる。高水準の滅菌基準の実施が非常に重要であるが、現在の技術は限度があり感染患者に用いられた器具のvCJD感染のリスクは未だ有意であることなどについて記載されている。脳および眼底、続いて脊髄が関与する手術がもっとも高いリスクに関連している。
											C型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/hepc/hepatitis_c/pdf/library/bleach-eng.pdf	本報告ではC型肝炎感染の背景の提供、針およびシリンジに対する消毒としての漂白の使用に関する概要を記載。消毒としての漂白の使用に関するデータの概要に、B型肝炎およびHIV感染予防における漂白の有効性の比較などについて記載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年6月13日	情報源: Alertnet, 6月13日。米国農務省(USDA)は米国のBSE疑いウシは1997年の飼料禁輸措置以前に生まれたと述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年6月14日	今回の米国産BSE可能性患者となったウシは1997年8月以前に生まれており、この時期は米国政府がBSE感染拡大を予防するための新規飼料輸入規制を実施した時期であるとUSDAは述べた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed, 2005年6月11日	ポルトガルのDGS(Portuguese Main Directorate of Medical Services)は、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病が疑われる青年男性患者1名の存在を発表した。ポルトガルは初のvCJD疑い患者を発表し、フランスは13例名の患者を確認した。